体外診断用医薬品
届出番号：08E1X80006000050

KYOKUTO
PHARMACEUTICAL INDUSTRIAL CO., LTD.

ブロスミック RGM

本製品は CLSI に準拠した微量液体希釈法を原理とする迅速発育抗酸菌の薬剤感受性検査キットです。培養 3~5 日間（マクロライド系薬剤は最長 14 日間※）で迅速発育抗酸菌の最小発育阻止濃度（MIC）の測定が可能です。

※マクロライド系薬剤では、耐性化の誘導を確認するため 14 日目に最終判定を行います。

【統一商品コード No.】：551-10087-7
【包　　装】：5 検体
【有効期間】：6 ヶ月
【貯蔵方法】：2~10℃

【包装内容】
陽イオン調整ミュラーヒントンブロス
薬剤乾燥固着マイクロプレート
菌液調整用試験管
判定用紙
添付文書

【別売品】
濁度計　Vi-Spec II・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 台（統一商品コード No.551-63190-6）
マイクロプレートリーディングミラー（判定鏡）・・・・・1 台（統一商品コード No.551-68090-4）

薬剤構成

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
A	AMK	128	64	32	16	8	4	152/8	76/4	38/2	19/1	9.5/0.5	4.8/0.25	ST
B	TOB	16	8	4	2	1	0.5	16	8	4	2	1	0.5	DOXY
C	IPM	64	32	16	8	4	2	64	32	16	8	4	2	MEPM
D	FRPM	64	32	16	8	4	2	32	16	8	4	2	1	LZD
E	LVFX	32	16	8	4	2	1	2	1	0.5	0.25	0.125	0.06	CLF
F	MFLX	8	4	2	1	0.5	0.25	8	4	2	1	0.5	0.25	STFX
G	AZM	64	32	16	8	4	2	1	0.5	0.25	0.125	0.06	Cont.	
H	CAM	64	32	16	8	4	2	1	0.5	0.25	0.125	0.06	Cont.	

（μg/mL）

アミカシン（AMK）、トブラマイシン（TOB）、イミペネム（IPM）、ファロペネム（FRPM）、レボフロキサシン（LVFX）、モキシフロキサシン（MFLX）、スルファメトキサゾール / トリメトプリム（ST）、ドキシサイクリン（DOXY）、メロペネム（MEPM）、リネゾリド（LZD）、クロファジミン（CLF）、シタフロキサシン（STFX）、アジスロマイシン（AZM）、クラリスロマイシン（CAM）

極東製薬工業株式会社

ブロスミック RGM

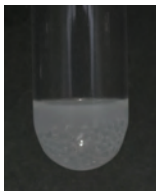
※ 必ず添付文書をよく読んでからご使用ください

操作方法

■ 前培養

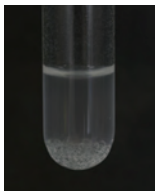
新鮮な分離菌株の菌コロニーを、「小川培地」に接種し、通常大気（30±2℃）にて 3~5 日培養。

■ ビーズ破砕



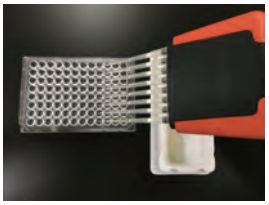
菌コロニーを菌液調整用試験管に採取し、0.5~1 mL の滅菌生理食塩水又は滅菌精製水を添加し、キャップをしめてチューブミキサーで 15~30 秒間懸濁する。

■ 菌液調整



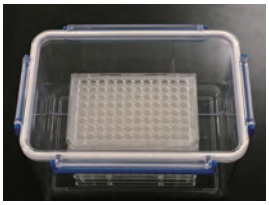
滅菌生理食塩水又は滅菌精製水を添加し、McFarland No.0.5（吸光度 530 nm：0.08~0.10）に調整。調整菌液 50 μL を陽イオン調整ミュラーヒントンブロスに添加し、これを接種用菌液とする。

■ 接種



薬剤乾燥固着マイクロプレートの各ウェルに 100 μL ずつ接種。

■ 培養

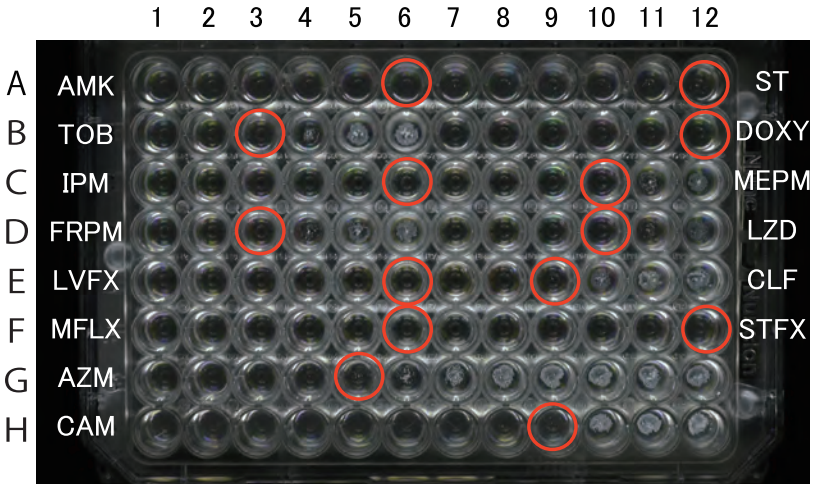


通常大気（30± 2 ℃）、3~14 日間培養。

判定

判定

培養 3~5 日で判定を行う。
菌の発育が全く認められない又は微量発育しか認められないウェルの最小濃度を MIC とする。
ST 合剤は、コントロールウェルの発育と比較し、80% 発育が阻止されたウェルを MIC とする。
マクロライド系薬剤の AZM と CAM は耐性化の誘導を確認するために、培養 14 日目に最終判定を行う。



Mycolicibacterium peregrinum ATCC 700686（3 日培養）

MIC（μg/mL）			
AMK	≦4	ST	≦4.8/0.25
TOB	4	DOXY	≦0.5
IPM	≦2	MEPM	8
FRPM	16	LZD	4
LVFX	≦1	CLF	0.5
MFLX	≦0.25	STFX	≦0.25
AZM※	4	CAM※	0.25

※最終判定は培養 14 日目に行います。

製造販売元
極東製薬工業株式会社
本社 〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町７－８
TEL：03-5645-5664　FAX：03-5645-5703
http://www.kyokutoseiyaku.co.jp

2019.8-01
E